

大牟田市はジョージアとアフガニスタンのホストタウンです



大牟田市

ジョージア

アフガニスタン

ホストタウンとは
自治体と東京2020オリンピック・パラリンピックに参加する国・地域の選手等が、スポーツ、文化、経済などを通じて交流し、地域の活性化等に活かしていくものです。

ジョージア

2019年8月ホストタウン登録。

ジョージア柔道チームとの交流として、日本国内での大会における事前合宿の誘致や大牟田高等学校柔道部との合同練習、小・中学生との柔道教室等に取り組みます。また、駐日ジョージア大使館及び在ジョージア日本国大使館と連携し、交流事業等に取り組みます。



アフガニスタン

2021年1月ホストタウン登録。

2021年7月に、東京2020オリンピック大会に出場する陸上競技の選手団4名が大牟田市で事前キャンプを行いました。アフガニスタンを支援し続けてきた故中村哲医師の功績について学ぶ授業などにより、ホストタウンのレガシー継承に取り組みます。

